

# CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.3 2011年2月15日号

編集:[editor@cna.jp](mailto:editor@cna.jp) 広告:[pr@cna.jp](mailto:pr@cna.jp) 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### ナカヨ、タッチパネル式タブレット型のアンドロイド端末を開発、テレビ電話も可能

株式会社ナカヨ(東京都渋谷区)は、タブレット型のアンドロイド端末を開発し、4月に発売する。出荷は7月より開始予定。(1月20日)



タブレット型アンドロイド端末、ハンズフリー通話可能なタブレット、LCD部は充電部より着脱可能(ナカヨ 資料)

タッチパネル式7インチワイド型LCD(800x480ピクセル)や30万画素CMOSカメラなどを内蔵した本体は、取り外して持ち運び可能で、無線LANによりネットワークに接続し、ハンズフリー通話可能なタブレットとして利用できる。テレビ会議にも活用できる。映像コーデックは、MPEG4 AVC/H.264、また、音声コーデックは、G.711に対応。エコーキャンセラ対応。その他、映像/音声入出力、USB、SDメモリー、有線LANなども搭載している。

また、ブラウザ、電子メール、写真撮影、ムービー撮影、ギャラリー、メッセージ、音楽再生、連絡先登録/設定、電卓などの機能も提供する。

ネットワーク回線については、インターネットやNTT東日本、NTT西日本が提供するNGN回線や、ビジネスホンおよびSIPサーバの内線に接続する。

外形寸法:約207(W)X138(H)X18(D)mm。質量:0.5kg

(本体のみ、充電台は除く)。カラーバリエーションは、白と黒の2色を提供。

ナカヨは、今回発表された端末について、クラウド(SaaS)等との連携により、オフィスから家庭までさまざまなシーンに応じた最適な汎用端末として利用できる点を特長として挙げる。これを実現するために、ソフトベンダーなどとの協業により、各種企業向けのアプリケーション開発も随時進めていくと同時に、同社デジタルIPビジネスホンおよびSIPサーバ「VC-SIPシリーズ」のマルチメディア端末として、高齢者向け介護施設、集合住宅、宿泊施設などへのセキュリティソリューションとしての展開行っていくという。

端末単体としての展開とソリューションシステム提案としての展開をあわせて2年間で30,000台の販売を目指す。

### フォースメディアの低コストTV会議レコーダー、フルHD/HDやストリーミングにも対応

株式会社フォースメディア(東京都品川区)は、フルHD/HDとストリーミングなどに対応した「TV会議録画Station」を発表した。(2月2日)



#### TV会議録画 Station(フォースメディア資料)

フォースメディアでは、昨年9月より、法人向け「Biz-Force(ビズフォース)」オリジナルブランドとして、SD対応

モデルのTV会議録画 Station を販売しているが、今回、新たにフル HD/HD やストリーミングなどにも対応する上位機種を発売することで、TV 会議録画 Station のラインナップを強化する。ライフサイズ、ポリコム、ソニー、タンバークなどの主要メーカーの端末に対応している。発売開始は、2 月中旬を予定。

TV 会議録画 Station は、テレビ会議の録画と再生の機能に絞り、低価格を実現した点に特長がある。加えて、録画や再生は、PC のブラウザで簡単に行え、録画操作は、赤い録画ボタンをクリックするだけという。

「TV 会議録画 Station は、録画と再生の機能に絞ることで、高価なメーカー純正のレコーダーにくらべて低価格の導入が可能。また、民生 HDD レコーダーのように DVD 等のメディアに保存し配布する必要もない利便性もある。会議の議事録、社内研修、製品説明会、遠隔授業などでテレビ会議の録画、保存、再生を低コストで簡単に行える。」  
(フォースメディア)

新製品の特長は以下の通り。(1)録画は、1080i と 720p に対応。入出力は、HDMI 端子を使用。ネットワークは、Gigabit ポートが 2 提供されている。

(2)PC やスマートフォンでの再生が可能。受信端末に応じてファイル形式画像サイズの変換が可能。PC での再生は、映像ファイルを PC にダウンロードせずに直接再生が行えるが、スマートフォンでの再生については、AppStore や Android Market からダウンロードする「QMobile」アプリケーションを使用する。

(3)本体デザインは、コンパクトで静音設計。場所を選ばず、容易に設置可能、動作音で会議を邪魔することはないという。

(4)保存用の HDD は、6TB の容量(RAID 構成)がある。ちなみに、H.264 フル HD で録画した場合、約 3,000 時間の保存が可能。

(5)バックアップ(オプション)。QNAP 社の NAS を増設し、リモートレプリケーション機能を使用すると、ネットワーク経由でデータのバックアップが行える。

今回発表されたフル HD/HD 対応 TV 会議録画 Station の価格は、オープンだが、同社によると、実売想定価格は、118 万円(税抜き)という。また、サポートについては、3 年間の製品保証に加え、オンサイト保守サービス(3年間)を標準パックする。

\*SD 版 TV 会議録画 Station 関連記事: 2010 年 9 月 30 日号掲載

## エイネット、インフルエンザ対策 USB メモリー型 Web 会議の再発売

エイネット株式会社(東京都千代田区)は、インフルエンザ対策 USB メモリー型 Web 会議「挿したらオフィス」の販売を 1 月から再開した。(1 月 31 日)

2009 年 9 月 7 日に発売を開始し、その後パンデミックが収束したため販売を一時休止していたが、顧客の要望を受け今回販売を再開した。

挿したらオフィスは、株式会社プロリンク(東京都千代田区)が販売するパスワード機能または指紋認証機能を持った USB デバイスに、エイネットの Web 会議システム「Fresh Voice」を搭載した製品。パソコンへのインストールが不要で、インターネットに接続されている PC の USB ポートに挿すことで、Web 会議がすぐに開始できる。

販売価格(1本あたり、税別)は、(1)USB デバイス+ Web 会議ライセンス:9,800 円(パスワード認証 USB)/22,500 円(指紋認証 USB)。(2)上記(1)に加え付属品(Web カメラ・ヘッドセット):16,100 円(パスワード認証 USB)/28,800 円(指紋認証 USB)。5 本セットの販売となっている。

使用開始日より1ヶ月利用が可能なライセンスが付く。ただし、有効期限は、2 年間。

挿したらオフィスは、必要な時だけ一時的に利用可能なライセンス形態である点が特長。インフルエンザなどパンデミック発生時に外出を避けるための在宅勤務や、社員の安否確認・健康状況の把握を接触せずに行える。また、パンデミック以外にも大規模地震等災害対策、自宅からの緊急招集などにも使えるという。

\*挿したらオフィス関連記事: 2009 年 9 月 15 日号掲載

## ブイキューブとサイボウズ、Web 会議とグループウェア連携モジュールの発売

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)とサイボウズ総合研究所株式会社(東京都文京区)は、連携モジュール「サイボウズ ガルーン for V-CUBE」の販売を開始すると発表。(1月28日)

サイボウズ ガルーン for V-CUBE は、サイボウズ株式会社(東京都文京区)が提供する大規模向けグループウェア「サイボウズ ガルーン 3(以下、ガルーン 3)」と、ブイキューブの提供する Web 会議「V-CUBE ミーティング」とを、連携するためのモジュール。

サイボウズ ガルーン for V-CUBE をガルーン 3 に設置することで、Web 会議の予約をガルーン 3 上で一元管理することが可能になる。

これによって、分散していた予約登録に関わる操作負荷の低減の他、登録漏れ、削除漏れ、相互登録のばらつきなどを防ぐことが可能になる。また、V-CUBE ミーティングの機能である外部招待をガルーン 3 上に実装することで、ガルーン 3 登録ユーザ以外の招待者をガルーン 3 スケジュール機能から Web 会議に招待できるようになる。

このモジュールは、オンプレミス版と SaaS 版で提供する。新規導入・既存利用を問わず、V-CUBE とサイボウズの両システムの利用ユーザであれば利用が可能。加えて、両者のクラウド連携にも対応している。

サイボウズ ガルーン for V-CUBE の利用料金は、V-CUBE ミーティングの契約会議室に応じた月額課金体系での提供となっている。SaaS 版の初期費用は無料。月額費用は、10,000 円/1 会議室。オンプレミス版については問い合わせ要。

今回の発売を記念し、2011 年 3 月末日までの申込ユーザに対して、申込会議室数に関わらず、利用開始月およびその翌月の最大 2 ヶ月間の月額料金が無料となるキャンペーンを実施している。3 月末日までに申込書が販売元に到達した申込分が対象となる。

\*共同開発、販売合意関連記事: 2010 年 11 月 15 日号掲載

## iDeep ソリューションズ、TeleOffice クラウドサービスを開始、テレビ会議システムとの組合せも可能

iDeep ソリューションズ株式会社(東京都港区)は、コラボレーションプラットフォーム「TeleOffice(テレオフィス)」を開発し、1月17日より提供開始した。iDeep ソリューションズ(アイディープソリューションズ)は、シャープ株式会社(大阪市阿倍野区)の 100%出資会社。(1月17日)

この TeleOffice は、法人向けクラウドサービスで、マイクロソフト社の RIA フレームワークである Silverlight をベースに開発されている。パソコンやタブレット端末、スマートフォンなどを利用して、クラウド上に登録した資料を、各端末で閲覧することで、遠隔地間での会議やコラボレーションが行える。表示された資料は、端末画面上で自在に拡大や縮小ができるとともに、発表者による資料のページ送りなども、他の端末へも即時に反映されるという。また、ホワイトボード機能を使うことで、参加メンバーが各自の端末からメモやアイデアを同時に書き込む(アノテーション)こともできる。

シャープは、このサービス向けに、指によるタッチパネル操作とペン入力に対応した 16.4 インチ型の「TeleOffice A4 スーパータブレット PC」と 60 インチ型の「TeleOffice スーパーボード」を開発した。

TeleOffice A4 スーパータブレット PC は、ユーザの机の引き出しやキャビネットの中にある資料を原寸でディスプレイ上に表示させることを考えている。入力は、キーボード、マウス、タッチ(指)、ペンの 4 種類を搭載している。一方、TeleOffice スーパーボードも、指やペンを使ってタッチパネル操作で書き込むことができる。書き込めるページは、無制限で、リアルタイムで記録される。ズーム、パンニング、コピー機能、黒板消し機能なども搭載している。

なお、TeleOffice は、既に社内に設置されているテレビ会議システムとも組み合わせ活用することも可能だ。

TeleOffice は、グローバルベースで世界のユーザにコラボレーションプラットフォームを提供するという設計思想をベースに、企業の特定の人が使うのではなく、現場スタッフの誰も

いつでもどこでも (Anytime, Anywhere) 簡単に使える次世代コラボレーションプラットフォームを念頭に開発されている。TeleOffice によって、会議などのコラボレーションの生産性や質的向上に加え、紙の利用を最小限に抑えるペーパーミニマムなワークスタイルが実現できるという。

*\*iDeep 新会社設立関連記事: 2010年10月31日号掲載*

## 製品・サービス動向-海外

### Vidyo 社、IBM Lotus Sametime クライアント向けプラグインの提供開始

米 Vidyo 社は、IBM 社の「Lotus Sametime クライアント」向けのプラグインを発表した。(1月25日)

Lotus Sametime のライセンスユーザは、Vidyo 社が提供する Lotus Sametime プラグインを利用することで、Vidyo 社の H.264/SVC 技術を使ったポイントツーポイントあるいはマルチポイントのビデオ会議を、PC やラップトップから開始できるようになる。

このビデオ会議は、Sametime のインスタントメッセージングやカレンダー、もしくは、メールに表示される Vidyo 用のハイパーリンク(URL)をクリックすることで開始できる。ビデオ会議は、Sametime のライセンスユーザ間のみ行える機能ではなく、Sametime のライセンスを持たないゲスト招待もできる。また、ビデオ会議の進行中であっても、新たな参加者を追加することも可能だ。この他、プレゼンス機能を使い相手の状況を確認した上で、会議を開始することもできる。その際のユーザへの通知やアラートは、Sametime のダイアログ表示に対応している。

プラグインには、以下が対応している。「IBM Sametime Connect Client Version 7.5.1 もしくは 8.0.2」、「IBM Lotus Domino Community Server Version 7.5.1」。PC OS については、「Windows XP」あるいは、32ビット版・64ビット版の「Windows Vista」、「Windows 7」。また、「MacOS」にも対応している。

Vidyo 社は、UC ベンダー各社との UC 連携に取り組んでいる。これまでマイクロソフト社やアドビシステムズ社の UC

と連携してきた。

## ビジネス動向-海外

### ブイキューブ、中国国内大手のシネックス社と提携、中国本土でのビジネス展開を開始

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、中国本土でのビジネスを展開するにあたり、中国のシネックス社(中国、Synnex Technology International Corporation)と契約を締結したと発表。(1月25日)

ブイキューブは、今回、中国本土で2番手のITディストリビューターシネックス社との提携に先立ち、2010年6月より香港のビジネスパートナーBRAV社(BRAV International LTD)と中国でのビジネス展開を協同で進めてきた。

シネックス社は、この2月より、同社が有する中国全土53のオフィスと、27,000社の販売チャネルを利用して、ブイキューブ Web 会議システムの販売を開始する。それに加え、今後、北京、上海、深圳、成都の4大都市に、V-CUBE センターショールームを建設(1月中にオープン予定)するなど、販売促進に力を入れる。

なお、今回の提携に合わせて、ブイキューブとシネックス社は、1月11日に北京において記者発表会を実施。58社のメディアや主要チャネルから約150名もの出席者に対して、ブイキューブ 代表取締役社長 間下 直晃氏は、企業説明と V-CUBE ミーティングのデモンストレーションを行った。

なお、記者発表会にあわせ、ブイキューブはシネックス社から Web 会議専用機型「V-CUBE センター」(2011年1月14日同社プレスリリース発表によると2010年12月20日より出荷開始となっている。)を200台受注。シネックス社は、今年度の V-CUBE センター販売台数を1,000台以上と見込んでいるという。

ブイキューブは、今後もアジア展開を加速する。その中で特に中国市場向けには、V-CUBE セミナーなど一連のサービスラインナップも用意する準備をしている。

*\*V-CUBE センター関連記事: 2010年10月31日号掲載*

## Intercall 社、英システムインテグレータ買収、 ユニファイドコミュニケーション事業を強化

米会議サービス大手の Intercall 社は、英システムインテグレータである Preferred One Stop Technologies Limited 社 (POSTcti) の買収を発表した。(2月1日)

POSTcti 社は、サーバ技術から SIP のボイスエンドポイントまで幅広い製品やソリューションを取り扱っており、顧客のニーズに応じて、カスタマイズにも対応している。また、マイクロソフト社のゴールドパートナーとしても展開しており、レガシーの PBX を、「Microsoft Lync Server 2010」(旧「Microsoft Office Communications Server 2007」)にインテグレーションすることや、OCS 2007(もしくは、Lync 2010)や「Microsoft Exchange」を使ったホスティングサービス「Unified Desktop(ユニファイドデスクトップ)」も提供している。このサービスでは、IP テレフォニー、プレゼンス、インスタントメッセージング、音声/ビデオ/Web 会議などの機能を利用できる。

今回の買収に先立ち、Intercall 社の親会社 West Corporation 社が 2010 年 3 月に、プロフェッショナルサービスやインテグレーションの SKT Business Communications Services 社を買収したが、Intercall 社では、ユニファイドコミュニケーションの分野での事業をさらに強化したい考えだ。

## Vidyo 社、マイクロソフトで UC の実績のある Ashish Gupta 氏が CMO 及びコーポレート・ ディベロップメント担当副社長に

米 Vidyo 社は、同社の CMO(マーケティング最高責任者)及びコーポレート・ディベロップメント担当副社長に Ashish Gupta 氏が就任したことを発表した。(1月4日)

Ashish Gupta 氏は、Vidyo 社に入社前には、「Lync」を発売したマイクロソフトのユニファイドコミュニケーショングループに所属し、UC に関するビジネス開発や戦略、またはチャネル開拓に携わってきた幹部のひとり。また、バイルワーカーやコンタクトセンター、UC ホスティングなどの戦略的な取り組みについても指揮してきた。マイクロソフトの前は、

Alcatel/Genesys 社でプロダクト&ソリューションの担当副社長、Telera 社でマーケティングおよびビジネス開発の担当副社長を経験。さらには、Braxton/Deloitte Consulting 社や HP 社、Covad 社、OnFiber 社などでの経験もある。MBA ホルダーでもある(UCLA)。

## Teliris 社、新たな CEO を迎え経営陣を強化

米のテレプレゼンスメーカ Teliris 社は、同社の CEO に、Neil Hobbs 氏が就任したと発表。(2010年12月16日)

今まで CEO であった、創業者の Marc Trachtenberg 氏は、今後 CTO(最高技術責任者)として、引き続き同社のテレプレゼンス技術のイノベーションを推進し、ビジョンの実現を図っていく。

Neil Hobbs 氏は、IT 分野での 25 年もの経験を持つ。前職は、Atlantix Global Systems 社で社長兼 CEO、そしてその前は、Level 3 Communications 社や、AT&T とブリテッシュテレコムの子会社 Concert などでの経験がある。

## 導入・利用動向

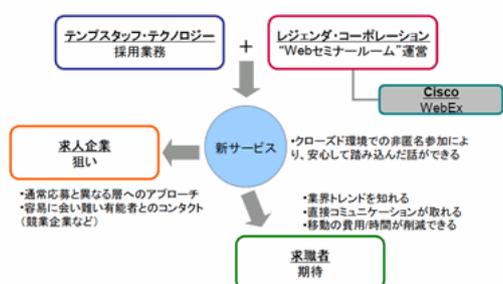
### レジェンダ・コーポレーションとテンプスタッフ・テクノロジー、Web セミナーを活用した採用代行サービスを開始

レジェンダ・コーポレーション株式会社(東京都新宿区)とテンプスタッフ・テクノロジー株式会社(東京都渋谷区)は、求職者参加型 Web セミナー「Web セミナールーム」を活用した新たな採用代行サービスを 2011 年より開始したと発表。(2月1日)

企業の IT 人材においては、IT 投資や人材採用の抑制を受けて、とりわけエントリー層の人材を中心に余剰傾向があるが、一方でマネジメント層や経験値の高い人材への需要は高まっている。しかしながら、企業では求人募集をかけても欲しい人材が集まらないといった人材不足状態で、採用効率が低下するケースが増えているという。その上、エントリー層から未経験業務へのチャレンジや、マネジメント・高度経験者層へのステップアップなど、人材育成に積極的に取り組みにく

い状況もあるという。

そこで、両社によると、今回開始した Web セミナールームは、通常の採用活動ではアプローチが難しい、有能な人材層と接触する機会を増やし、効果的な採用活動につなげることが可能になるという。たとえば、遠方に住んでいたりと、仕事の都合で時間が取れない、あるいは、転職には積極的ではないものの業界の最新動向に興味がある、といった人材にもアプローチできると期待する。



**採用代行サービス(レジェンダ・コーポレーション、テンプスタッフ・テクノロジー資料)**

他方、参加者側から見た Web セミナーのメリットとしては、業界トレンド情報を知る機会を増やす、担当者と直接コミュニケーションすることができる、さらには、全国から交通費などの費用負担が不要になる、などが挙げられるという。

採用代行サービスにおける両社の役割について。テンプスタッフ・テクノロジーが、募集・集客・アプローチ・企業説明・一次選考・結果通知・紹介(派遣・紹介予定派遣・人材紹介)などの人材採用プロセスの全体を行い、その中で、Web セミナーの実施と当日サポートをレジェンダが担当する。

レジェンダ・コーポレーションは、人事・研修・採用コンサルティングを行う人事の総合ソリューションを提供している。テンプスタッフ・テクノロジーは、IT 系のエンジニア向けに派遣・紹介予定派遣・転職を支援している。

今回発表された Web セミナールームには、シスコシステムズ合同会社(東京都港区)のオンライントレーニングソリューション「Cisco WebEx Training Center(シスコ ウェベッ

クス トレーニングセンター)」を採用したという。

レジェンダ・コーポレーション株式会社

<http://www.leggenda.co.jp/>

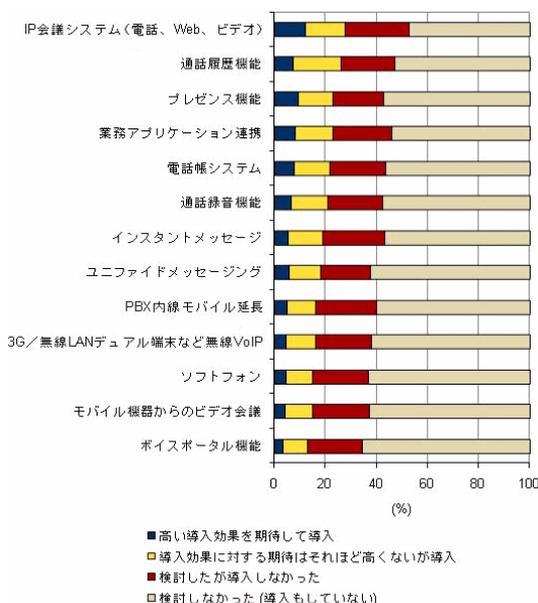
テンプスタッフ・テクノロジー株式会社

<http://www.tempstech.co.jp/>

**市場動向-国内**

**IDC Japan、国内ユニファイドコミュニケーション市場企業ユーザ調査を発表、電話会議/Web会議/ビデオ会議の導入企業が増加傾向**

IDC Japan 株式会社(東京都千代田区)は、国内ユニファイドコミュニケーション市場における企業ユーザ調査を行いその結果をまとめた。(1月24日)



Note: n = 820

**国内 UC 市場 ユニファイドアプリケーション/機能の導入状況、2010年(IDC Japan 資料)**

企業ユーザ調査は、従業員 10 人以上の企業 820 社に対して 2010 年 8 月実施した。VoIP システム/サービス、ユニファイドアプリケーションについて、ユーザ企業の利用動向や受容性、そして満足度などの調査および分析を行った。その結果については、「2010 年国内ユニファイドコミュニケーション市場 企業ユーザ調査」(J11380101)に詳細が報告されている。購入については同社サイト参照要。

今回の結果では、VoIP システム/システムを自社の音声プラットフォームとして利用しているユーザは、55.6%。これは、2009年調査の54.4%と比較し、横ばいとなる。導入動機については、コスト削減が多数を占めており、ユーザの UC インフラへの支出は、コスト削減を理由としたものにシフトしているという。

ユニファイドアプリケーションの導入率については、2009年調査と比較して大きく上昇した。その中で、特に電話会議/Web 会議/ビデオ会議を含む IP 会議システムについては、27.8%の企業が導入していると回答し、2009年調査に比べ 8.6 ポイントの増加となった。

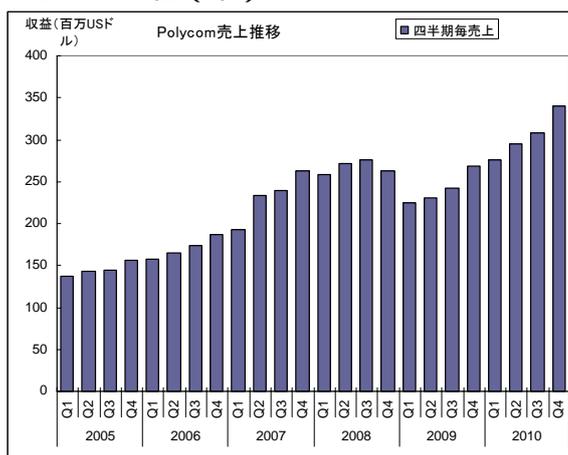
また、プレゼンス機能、ユニファイドメッセージング、業務アプリケーション連携などの機能も、2008年調査以来、継続して導入率が上昇している。UC システムへの支出が UC インフラからアプリケーションへのシフトが加速していると同社では見ている。

## 業績発表-海外

2010年第4四半期(2010年10月-12月期)

\*NASDAQ 等上場企業のみ。

### ポリコム社(米)



ポリコム社売上グラフ (CNA レポート・ジャパン資料)

米ポリコム社は、1月20日アナリストなど向けの業績発表会をオンラインで実施し、2010年第4四半期の業績結果を発表した。

それによると、第4四半期の売上は、第3四半期に比べ10%増の3億4000万ドルで過去最高を記録した。また2010年通年では、2009年通年に比べ、26%増加し、売上は12億ドルに達した。加えて、キャッシュフローもプラスに推移し、現金及び投資残高は、5億3600万ドルとなった。無借金経営。

売上構成は、UC グループシステム(グループビデオ会議およびグループ音声会議製品)が全体の65%を占め、UC パーソナルデバイス(デスクトップビデオ会議および音声会議)が19%。ネットワークインフラストラクチャー(MCU などインフラ装置)は、16%であった。

一方地域別では、南北アメリカが、全体の売上の53%、EMEA(欧州、中東、アフリカ)が25%、アジア太平洋が、21%であった。対前四半期比では、それぞれ7%、15%、14%増、対前年比では、27%、22%、33%増であった。アジアでは、とくに、インド、中国、オーストラリアの伸びが大きいという。また EMEA では、ロシアを挙げる。

ポリコム社にとって、2010年は、戦略的に重要な年であり、また、企業体としても転換期(transformative year)であったという。売上は10億ドルの大台を超え、“音声とビデオのプロダクトカンパニー”から、インテグレーションを軸とした“UC プロバイダー”へと脱皮しようとしている。

2010年は、顧客重視(customer centric)を軸に、Go to market 戦略、パートナーシップ、サービスプロバイダー、プロフェッショナルサービス、そして、イノベーションといった、5つの柱で戦略を展開してきた。

UC 関連の売上については、POCN パートナー(マイクロソフト、IBM、BroadSoft など7社)との共同受注で、第4四半期の売上の23%に達しているという。HD ビデオ関係の導入プロジェクトが多かったようだ。ちなみに、第3四半期は、全体18%だった。

サービスプロバイダー関連では、通信事業者チャイナユニコム(China Unicom)の例を挙げ、ポリコムのプラットフォームを使用したクラウドサービス導入を紹介。対象は、政府系が中心となるが10,000台規模をサポートしたインフラで、業界でもこの規模は例がないという。

スマートフォン関係では、アンドロイド端末(サムソン電子の Galaxy の発表)以外にも、RIM/Blackberry や Windows、アップルなどのスマートフォンも今後サポートしていく予定という。

2011 年は、2010 年の取り組みを受けて、クラウドベース UC ソリューション、モビリティ、UC エコシステム、UC インテリジェントコア、UC イノベーションエンジンといった方向で、ポリコム UC ビジネスをさらに拡大していく考えだ。

今後の UC 展開では、クラウドとモバイルが軸となると見えており、その実現には、POCN パートナリシップや、OEC パートナリシップとの連携が重要な鍵を握るようだ。

その中で、近日中に正式発表を予定している、テレプレゼンスや UC の普及を目的とした、Open Exchange Consortium (OEC、オープンエクステンジコンソーシアム)の開始についても若干言及し、サービスプロバイダーとのパートナーシップを強化することで、大企業だけでなく、中小企業(SMB)やホーム(homeという言葉を使用。)環境までを含めたビジネス to ビジネスクラウドの提供を目指すようだ。

## セミナー・展示会情報

### < 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日時：2月16日(水)、23日(水)

\*全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催

会場：NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催：日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込：

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

Flexible Cost Saver クラウドサービス

無料 web 会議体験セミナー開催中

日時：東京：2月17日(木)

大阪：2月16日(水)

\*両日とも、15:00~17:00。

会場：FCS 東京オフィス(東京都港区)

FCS 大阪オフィス(大阪市北区)

主催：株式会社エフ・シー・エス

詳細・申込：<http://costsaver.jp/index.html>

次世代ユニファイド・コミュニケーション・フォーラム  
チーム・コラボレーションが加速するビジネス革命

日時：2月24日(木)13:00~17:05(12:30 開場) 予定

会場：ベルサール神保町 2F(東京都千代田区)

主催：日経コミュニケーション

協賛：iDeep ソリューションズ株式会社、日本 IBM 株式会社、  
マイクロソフト株式会社

詳細・申込：<http://ac.nikkeibp.co.jp/ncc/uc2011/>

### 【iPad, iPhone 同時配信】

いままでにない臨場感！高画質 Web 会議体験セミナー

日時：3月1日(火)

第1回 12:00~13:00

第2回 14:00~15:00

\*同じ内容。いずれかの時間帯を申し込む。

会場：オンラインセミナー

主催：シスコシステムズ合同会社

コラボレーションソフトウェアグループ

詳細・申込：

[http://www.webex.co.jp/web-seminars/webseminar\\_030111.html?SourceId=hpg](http://www.webex.co.jp/web-seminars/webseminar_030111.html?SourceId=hpg)

\*PC 以外にも、iPhone、iPad での参加可能。

### < 海外 >

TeleSpan's Sixth Annual Future of Conferencing  
Workshop (有料、アーリーバード割引 2月1日まで)

日時：2011年3月17日-18日

会場：Palace Station(米国ラスベガス)

主催：TeleSpan Publishing Corporation

詳細・申込：<http://www.telespan.com/workshop/index.html>

## 平成 23 年新春対談



VTV ジャパン 代表 栢野 正典 氏と、CNAレポート・ジャパンの橋本とで、平成 23 年新春対談「ビジュアルコミュニケーションの今」の新春対談をさせていただきました。よろしければ、ご覧いただければ有り難いです。

<http://www.vtv.co.jp/intro/taidan/201101.html>

## 編集後記

今回もご覧いただきありがとうございました。

また次回もよろしくお願ひ致します。

CNA レポート・ジャパン 代表 橋本 啓介